連載

千葉一族盛衰記

第五話　武士の世を平安中期に予見した天才異端児・平高望（たいらのたかもち）

歴史噺家　けやき家こもん

平清盛（たいらのきよもり）も高望の子孫！

平清盛という名前を聞いたことがない人は、ほとんどいないでしょう。中学校は言うに及ばず、小学校の日本の歴史でも習いますし、テレビや新聞や物語で、必ず一度は目にしているはずです。平清盛とは平家物語の堂々の主人公。武士の台頭に先鞭をつけた平家の棟梁であり、平安末期、日本の一時代を築いた人物です。

実は、彼も平高望の子孫です。よって、平高望を知るということは、千葉一族の盛衰を理解する入口であると同時に、「平家の時代」を知るうえでもとても重要なのです。

平清盛が出てきたので、彼のライバルである源頼朝（みなもとのよりとも）と千葉一族についてのおまけの話もちょっと。「千葉一族って、源頼朝に従ったんだから、源氏なんだよね？」という誤解についてお話しします。千葉一族は、平高望の子孫ですから正真正銘の平家一門です。よって、血筋的には源氏ではありません。では、どうして源平の争乱の折、平清盛ではなく、平家を滅ぼした源頼朝に加勢したのか？　そのあたりの種明かしは、平高望からしばらく先、平安末期の千葉常胤（つねたね）前後の時代にありますので、もう少々ご辛抱ください。

さて、時代は平安の中期、平高望の時代に巻き戻しましょう。

都から上総へ

前話では、高望王が天皇から「平（たいら）」の姓を下げ渡され、上総の地方長官職を引き受けたところまでお話しました。

当時、皇族や上級貴族が地方長官に任命されても、自分で任地に赴いて統治をすることはほとんどありませんでした。自分は京の都にいて、自分より格下の貴族や豪族に実質的な地方統治をまるごとお任せする「遥任（ようにん）」という統治スタイルが一般的でした。

平安時代は、京都から千葉に行くのも命がけです。道は十分に整備されていないうえに、峻険な山道をたくさん越えていかなければなりません。そんな道なき道を移動している最中、山賊に襲われ命を落とすこともあります。さらに、任地に到着できたとしても、ほとんど未開の地ともいえるような地方では、蛮族や地方の荒くれ豪族に皆殺しに遭ってしまうこともあったのです。このように残念な形で命を落とした者の歴史は残りませんから、現在の私たちは知る由もありませんが、当時はそんな「名もなきパイオニアたち」の不運な事件や事故が日常的に発生していたはずです。

一方、自分は都にいて、下々に地方統治を任せておけば自分の命は安全です。さらに、「遥任」すれば自分は中央で天皇や有力貴族たちとコネクションを深め、政治的に有利な立場にいつづけることができるうえ、俸禄だけは収入として安定的にもらえる。つまり、彼らにしてみれば、遥任せずに自らが地方に赴任することは、リスクが極端に大きいわりに、得られるリターンがあまりないということになります。

前回お話ししたとおり、平高望が統治を任された千葉県南部の上総の地は、俘囚（ふしゅう）たちによる反乱が頻発していました。蛮族の地というイメージです。統治が成功するという見込みは、かなり低いとみるのが常識的な見解だったのではないでしょうか。

しかし、平高望はそんな危険極まりない上総の直接統治をあえて買って出る賭けに出ます。それどころか、正妻が産んだ三人の息子（長男国香、次男良兼、三男良将）を伴っての赴任という腹の座り様でした。

結論から言えば、この平高望の賭けは見事成功し、上総は高望とその息子たちによりり平定されました。平高望は、上総介の任期が満了した後も上総の地にとどまり統治を続け、高望流平氏の礎を築いたのです。

先に説明したとおり、彼の成功は結果的に平安時代の終わりとともにやってくる「武士の時代」を決定づけた、平清盛を生み出すことになります。

さらに、関東で「新皇」を自称し、東国の独立を高らかに宣言して朝敵として討たれた平将門（たいらのまさかど）は、平高望の孫にあたります。そして、高望の息子である良文の流れの一流が、後に千葉常胤をはじめとする千葉一族を形成することになるのです。

このように、高望からは「後の世を創った人物たち」が多数生み出されました。彼ら高望を祖とする時代の創造者たちに共通しているのは、それぞれが思い描く「武士の世の幕開け」を標榜していた、という点です。

私としては、高望の死から約２７０年後の１１８５年、鎌倉の地で花開く「武士の時代」は、平高望のパイオニア精神、統治力、そして遠い未来を予見する能力によるところが大きかったと思っています。

【著者プロフィール】
昭和46年佐倉市生まれ。郷土史や伝説をわかりやすく、楽しく伝える目的で、落語調で歴史を語る「歴史噺家」として活動。著書に「佐倉市域の歴史と伝説」がある。

高望王流桓武平氏系図

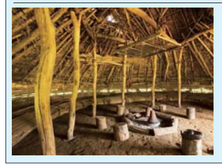
出典：葛飾区公式サイト「桓武平氏系図」参考

加曽利貝塚で第３期発掘開始

千葉市は先月19日、若葉区の加曽利貝塚において、平成29年から始まっている発掘調査の第３期を開始した。加曽利貝塚は縄文時代中～後期の暮らしを伝える集落の遺跡であり国指定特別史跡として知られている。

第３期では過去の調査で貝塚の形成時期などが未解明だった「北貝塚」の中心部約５００㎡を発掘予定。昭和37年の調査で縄文時代後期の竪穴住居跡や埋葬人骨を発見するも詳細不明な竪穴住居跡が多く人骨との関係も不明のままだったことも踏まえ、今回の発掘では貝塚の形成時期と分布範囲など正確な集落像の解明を目指している。

調査は11月11日までの火～土曜、日曜・祝日や荒天の日は休止。期間中は職員による無料の現地ガイドもある。最終日の11月11日（土）の成果説明会には参加希望者の申込をネット、メール、往復はがきで受け付ける。



千葉市のフリースクールが大集合「にじのフェスティバル」開催

近年、学校に行けない小中学生が増加している。学校での人間関係や家族との関わり方、学校に行く意欲がなくなるなど、その理由はさまざま。そんな中、学校以外に子どもたちが過ごす場所を集めているのが「フリースクール」だ。

先月18日、民間団体などが運営する「フリースクール」を多くの人に知ってもらうことを目的としたイベント「にじのフェスティバル」がフレスポ稲毛内（千葉市稲毛区長沼原町７-３-１７）の「まちスポ稲毛」で行われた。

主催者の鈴木幸代さんは、不登校になった子の親としての経験から「フリースクールの存在を知らなくて困っている人もいるので、必要な人に情報を届けていきたい」と話す。そして、どのフリースクールも特徴があるので、スタッフ同士の横のつながりを持って、情報交換や共有ができるようにしていきたいという思いがあり、このイベントを開催。会場には、市内のフリースクールの運営者による相談コーナーのほか、リトミックやマジックなどの体験、クラフトなどのワークショップ、キッチンカーによる弁当の販売やバルーンアート、ヨーヨー釣りなどもあり、多くの家族連れでにぎわった。

視察に訪れた神谷俊一千葉市長は「今は特に小学４年生以上の不登校生徒が増えてきている。これまでは教育の枠組みの中で支援する形だったが、これからは教育の枠外での支援も必要。ひとりひとりに合った取組みが大切で、その子に合う場所は必ずある」と語り、学校以外の学びの場の重要性や、行政とフリースクールが連携していくことの必要性を訴えていた。

挨拶をする神谷市長

千葉市生活応援キャッシュレス決済で最大５千円相当還元

千葉市では物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するとともに、千葉市内での消費で地域経済を活性化するため「千葉市生活応援キャンペーン」を10月１日（日）から開始した。これは対象店でのキャッシュレス決済での支払額に対してポイント還元を行うというもの。対象決済事業者のアプリがあれば、申し込みは不要だ。

期間は令和５年10月１日（日）から10月31日（火）までだが、キャンペーン期間に関わらず、予算額に到達次第、終了するとしている。対象となるキャッシュレス決済はイオンペイ、ａｕＰＡＹ、ｄ払い、ペイペイ、楽天ペイ。

還元率は支払い額の最大10％、期間中の付与上限額は決済事業者ごとに５千円相当。対象取引の１回当たりの付与上限額は千円相当となっている。

対象店舗は千葉市内で対象の決済サービスを導入している約８千５百の実店舗で詳細はキャンペーンの特設ページから確認できる。対象となる店舗の業種は小売業（スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニ等）約３千店舗、飲食店は約２千５百店舗、サービス業（クリーニング、理美容等）は約３千店舗とのこと。

キャンペーン特設ページを確認してみたところ、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップなどのコンビニエンスストアや、マツモトキヨシ、ウエルシアなどのドラッグストアといった普段から多くの人が利用している店舗も対象となっているようだ。

ちなみに同じ条件で買い物をすれば、千葉市外在住の人も還元を受けることができるので、期間内より早く予算額に到達しキャンペーンが終了することも考えられる。

キャンペーンの詳細はＱＲコードから、問合せはコールセンター℡０１２０-７８７・８９５へ。対応時間は９時～18時まで（土日祝を除く）。10月１日（日）から10月31日（火）までは土日祝も開設。

随筆　平和の大切さ

古城 庸子

八月十五日は太平洋戦争の終わった日だ。

この日には毎年、私は儀ちゃんに連れられて、まず千葉の護国神社にお参りをし、その後、靖国神社に行った。これは儀ちゃんと結婚してから突然天国へ行ってしまった日まで必ず続いていたのだった。

現在、戦争を体験している人は大分少なくなった。私だって、ほとんど記憶にないものの。私と儀ちゃんとは年齢差があったから、私の母と儀ちゃんとは仲が良く、休日母が訪ねてきたりすると二人でよく戦争中に東京のことを話していたっけ。

戦争一色に染まっていた時代、儀ちゃんは中学を卒業すると迷うことなく予科練に志願し特攻隊員に選ばれた。そして霞ケ浦に集められて訓練が始まったそうだ。

そこへ儀ちゃんの父親が面会に来てくれた。汽車のチケットが手に入らなかったので、なんと香取郡から自転車でやって来た。母親が大切にしまっておいた砂糖をおしげもなくたっぷり使った、儀ちゃんの大好物のぼたもちを作り、自転車の荷台にくくりつけて。

面会室で父親と会った儀ちゃんは、「国のため立派に戦って参ります」と言った。しばらく黙っていた父親はその後、「何も志願してまで行かなくても…」とつぶやき、そっと涙をぬぐったそうだ。

その時、儀ちゃんは「なんて女々しいお父親だろう」と思ったそうだ。儀ちゃんは国のために命をささげることが一番のことと信じ切っていたからだ。

母親が心を込めて言葉が飛び交った。上官は「とにかくこれまでの練習を続けろ」と命令を下した。

それから三日目、儀ちゃんたち全員、汽車の切符とお米一升と軍隊毛布を渡され「少しでも早く家に帰りつけ」と命令が下った。「アメリカからマッカーサーという司令官が東京へ来たそうだ。特攻隊員とわかったら道路一列に寝かされ戦車で殺されてしまう。早く東京を越えろ」。上官からそう言われ、追われるようにそれぞれが故郷へ向かった。

何十時間も汽車に乗ったり、歩いたりして儀ちゃんはようやく家に着いた。儀ちゃんを見て母親は「儀だよね？　足があるから幽霊じゃないよね？」と聞いたそうだ。

そのすぐ後、霞ケ浦も爆弾を受け、儀ちゃんたちは現在の秋田空港に行き、激しい飛行訓練が始まった。

敵艦に見立てた丸印に飛行機を当てる訓練（タッチアンドゴー）が繰り返しが、儀ちゃんの願いが叶わぬうちに八月十五日が来た。

その日、「重大発表があるから全員整列してラジオを聞くよう」と上官から命令が下りた。しかしラジオは雑音が多くハッキリ内容が伝わらなかったそうだ。

放送が終わってしばらくは静かだったが、そのうち誰かが「日本が戦争に負けたんだ」と叫んだ。それをきっかけに「日本が負けるはずないじゃないか！」「いや、負けたんだ！」と言葉が飛び交った。

それから半年余り、儀ちゃんは何をする気も出ず、ぼんやりした日々を過ごしていた。頭の切り替えがどうにもできなかったと言う。

自分で新しい生き方を考えねばと思い始めたころ、小学校のころの先生が訪ねて来て「儀君、このままじゃダメ人間になってしまうよ。これからの生き方をしっかり見つけなさい」と諭してくれた。儀ちゃんはもう一度学びたいと思い「大学へ行かせてほしい」と両親に告げた。

両親の賛成の後、儀ちゃんは東京へ出て大学卒業後に銀行に入った。「戦争は絶対にあってはならないもの」、儀ちゃんから何回この言葉を聞いただろうか。

「りょうえん葬儀」
稲毛陵苑でご利用いただけます。
一日葬　311,300円（税込）より
二日葬　426,800円（税込）より
新型コロナウイルス感染予防の取り組みについて
当山では新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を防ぐため、その予防に努めております。当山職員は常時としてマスク着用をいたします。また、三密（密集・密接・密閉）・ご見学の皆さまにおかれましても、館内でのアルコール消毒やマスク着用をぜひご協力を強願・可能にお願いします。ご見学いただく際には、一組ずつの個別対応をさせていただいております。葬儀はコンパクト・簡略ともはぶく簡略空間となっておりますので、他のお客様との区画間距離を大きく取ることが可能です。また空調・換気にも気配っております。ですので安心して来場ください。
稲毛駅からすぐ、お気軽に手ぶらで室内参拝
利便性
●駅近で専用駐車場も完備
●手ぶらで参拝（線香・お花不要）
●室内のため天候を気にせず参拝
趣き
●緑・水・光を感じられる参拝環境
●和型・洋型の選べるお墓スタイル
●くつろぎの屋上庭園・ラウンジ
安心
●プライベート空間を保つ参拝環境
●オリジナル納骨堂方式（トヨタＬ＆Ｆ製）
●最新耐震構造でご遺骨を収蔵
【注意事項】葬儀の運営については、各提携先（葬儀社）に委託します。
稲毛陵苑は檀信徒施設となりますので、当山僧侶がお勤めいたします。
※別途冥加金をお納めください。詳細は職員にお問合ください。
ＪＲ稲毛駅徒歩３分
京成稲毛駅徒歩５分
無料駐車場 30台完備
これからの供養のかたち
葬儀・納骨・法事すべて執り行えます
開発時間／8:00～18:00 年中無休（365日開発）〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-7-5
稲毛陵苑　☎043-388-0559
宗教法人毘沙門堂／稲毛陵苑概要　●一階／管理事務所　二階／本堂・副本堂・法事室　三階／納骨堂（檀信徒向け施設）●許可番号：千葉市保健所第29-1号

次回発行日は11月３日（金）
身近な情報はメール・ＦＡＸでお寄せください

身を切る改革、維新だからできる。
日本維新の会
今を変える！千葉から変える！
日本維新の会　衆議院千葉県第１選挙区支部　支部長
よだ かずたか
身を切る改革
○議員報酬と議員定数の削減
○二重行政の撤廃
○税体系の抜本改革
地域・医療・福祉・社会保障制度の充実
○エッセンシャルワーカーの処遇大幅改善
○医療特区政策
○介護離職防止・従事者の確保
○保育事業の促進
教育・子育て支援
○保育園・幼稚園から大学までの教育費無償化
○給食費の無償化
○医療費の無償化
防災・減災・国土強靭化対策
○ソフト・ハード面から命を守る対策の充実強化
○子どもから大人までみんなが安心して暮らせるまちづくり
食の安全
○食料の自給自足、食の安心・安全の確立
日本維新の会代表
衆議院議員
馬場　伸幸
日本維新の会共同代表
大阪府知事
吉村　洋文
よだ かずたか プロフィール　日本維新の会　衆議院千葉県第１選挙区支部　支部長
1974年 東京都葛飾区生まれ
1993年 帝京高等学校 卒業
1998年 専修大学 法学部法律学科 卒業
1998年 第一勧業銀行 入社（みずほ銀行に改称）
2011年 ㈱在宅支援総合ケアーサービス 設立
千葉商工会議所 第1号議員
千葉西ロータリークラブ 社会奉仕委員長
株式会社在宅支援総合ケアーサービス代表取締役
重度訪問介護従事者
認定特定行為（喀痰吸引・経管栄養）業務従事者
日本維新の会　衆議院千葉県第１選挙区支部　〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-6-9 マルサンビル２階　TEL.043-301-2330／FAX.043-441-6451／mail：zaitaku0000@gmail.com